

令和 3 年度森林環境譲与税の使途について

(石川県金沢市)

事業区分	事業名	事業総額 (千円)			事業内容	実績	税導入の効果 (総括)
		うち当該年度の森林環境譲与税 (千円)	うち基金取崩額 (千円)	うち他の財源 (千円)			
① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林位置情報作成事業	35,200	35,200	0	0	市内87町の公図を基に、森林の境界がわかる図面(合成公図)し、林地台帳付図を修正	実施数量 ・87町 ・44,082筆
② 意向調査、集積計画等作成	森林経営管理事業	5,830	5,830	0	0	森林の現況調査や森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査を実施	意向調査対象者 ・1,023名 実施面積 ・384.04 ha
③ 私有林整備	森林広葉樹林化モデル事業	979	979	0	0	令和2年度に集積計画を策定し間伐等を実施した2地区のスギ人工林のモニタリング結果より、天然更新のための補助作業が必要であると認められた1地区において、森林経営管理事業により下刈りを実施	実施内容及び数量 ・下刈り 1.96 ha ・天然更新調査 400 m ²
⑤ 森林保護対策	スマート林業実践推進費	1,870	1,870	0	0	ドローン(ICT技術)を活用して、海岸林(保安林)を空中探査することにより、広域に渡る海岸林の資源量や松くい虫被害状況を把握するとともに、樹木データや履歴等の整理・更新を実施	調査対象箇所 ・金沢市海岸部森林(粟崎町、五郎島町など) 調査面積 ・80.8 ha
⑨ 林業就業者の育成	金沢林業大学校運営費	6,000	6,000	0	0	森林整備に必要な林業労働力をより確保するため、林業事業者への就業を目指す人材を対象とした「林業専門コース」を新たに創設	専門コース研修日数 ・120日
⑮ 森林・林業・木材普及活動等	金沢産材利用促進事業	1,067	1,067	0	0	金沢市で生産された木材がどのように活用されているのかを広く市民に紹介し、森林の魅力発信や地元の金沢の木に親しみをもってもらい、将来的な金沢産材の利用拡大を目的とした動画を制作。動画は金沢市公式サイトで公開したほか、今後イベント等でも活用予定	動画制作一式
⑮ 森林・林業・木材普及活動等	子どもの森育推進事業	3,506	3,506	0	0	未就学児や小学生が地域の森や木に関心を持ち、親しんでもらうための体験学習の機会を提供	イベント実施回数 ・6回 その他 ・活動場所の整備
⑯ その他(木材・普及啓発関係)	森林環境譲与税活用検討事業	6,556	5,761	0	795	学識者、市民団体を含む関係団体等で構成する検討会を設置し、2カ年の議論を経て森林環境譲与税の効果的な活用について提言を受けた。提言は冊子を作成・HPで公開し、市民への周知・普及啓発のためシンポジウムを開催	基本理念を定めた提言書を市長に提出し、HP等で公開 検討会開催回数 ・2回 シンポジウム開催回数 ・1回

【ワンフレーズ】
 税活用により、
 ・森林経営管理法に基づく意向調査を本格的に開始したほか、意向調査の基礎資料となる位置情報図面の作成(令和2年度～)を継続して実施した。
 ・人材育成では、金沢林業大学校に「林業専門コース」を新たに設けたほか、普及啓発では、児童等を対象とした体験学習の機会を設けることで、森林の有する公益的機能の維持増進を図った。

【詳細】
 本市の人工林は、昭和40年から本市が実施している分収林事業や民間事業者による森林経営計画制度の活用により、比較的管理された状態であることから、森林整備に税を活用した実績が少ない結果となったが、引き続き、位置情報図面の作成及び意向調査を進めると同時に、集積計画の策定や整備が必要な人工林の抽出を進めていくこととしている。
 具体的には、昨年度実施した意向調査では、市の管理を希望する山林所有者の割合が約70%と高い結果となるとともに、天然林の管理のあり方についても新たな課題として位置づけ、対応を検討していく予定としている。
 また、石川県の一部の市町では、県がレーザー測量・森林解析を実施し、森林情報の整備が進んでいるところもあるが、本市においては、このような森林情報が整備されていないことから、税の活用も視野に森林情報の整備を進め、意向調査の優先順位の見直しや要整備林の抽出など、エビデンスに基づいた政策立案にも取り組んでいく予定としている。
 加えて、公共施設等の木材利用については、森林環境譲与税の創設以前から市の事業として継続して取り組んでいることから、本税の活用実績はない結果となったが、小学生等を対象に森や木に関する体験学習会を実施した。
 税の活用方法については、令和2年度に引き続き検討会を開催し、外部有識者から提言を受けた。また、提言や税の制度を周知するため、シンポジウムを開催した。